

令和5年度公益社団法人

筑西市シルバー人材センター事業報告

1. まえがき

令和5年度の我が国経済は、コロナ禍の3年間を乗り越え改善しつつあります。

30年ぶりとなる高水準の賃上げや企業の高い投資意欲など、経済には前向きな動きが見られ、デフレから脱却し、経済の新たなステージに移行する千載一遇のチャンスを迎えていることから、実質で1.6%程度、名目で5.5%程度、消費者物価は3.0%の上昇率になると見込まれる。

当センターの事業運営については、コロナ禍による請負契約の影響は減少してきましたが、駐輪場等の指定管理者の終了、また適正就業の推進から、高年齢者には適さない業務の終了、請負では困難な公共施設管理等も派遣契約に移行いたしました。その結果、請負契約額が減少し、派遣契約額が増加傾向にあります。

このような状況の中、シルバー人材センター事業は、「高年齢者雇用対策事業」の中の重要な施策のひとつとして位置づけられ、少子化及び団塊世代の退職等による労働力人口の大幅な減少が見込まれるなか、その受け皿として果たす役割はますます大きく、社会を支える担い手として活躍することの重要性が増大しております。事業実施にあたるセンターは、高齢者の多様な社会参加の推進団体として、体制整備や健全かつ効率的な事業運営、自己収入の拡大などによる自立的な運営基盤の確立を図ることが求められています。

これらのことから、新規事業の開拓による就業機会の拡大、増加しつつある団塊世代等に対応する受入体制の確保を図るとともに、安全就業パトロールの実施、さらには、県シ連と共催で「植木剪定スタッフ講習会」や独自の剪定講習会を開催するなど、会員さんの技能の向上、作業中の事故防止に努め、安全・適正就業の向上に取り組んできました。

また、会員拡大については、市の各種イベントによる新規会員加入PR活動を実施いたしました。再雇用や定年延長等の影響により入会者は年々減少しており、目標値に及びませんでした。

2. 具体的方策

(1) 就業の開拓・提供事業：

シルバー人材センター事業の自立推進のため、会員の就業機会の拡充を図るため、就業開拓員による家庭訪問はコロナ禍で自粛しております。

しかし、従来のシルバー事業の「請負・委任」という形式を取らない一般労働者派遣事業の拡大を図ってまいりました。

(2) 調査研究事業

新たな就業分野等の先進地調査や就業時における発注者と会員、事務局のミスマッチ等を解消する為、発注者等とのコミュニケーション改善の方策を研究・実施することにより、就業の質の向上や、それに伴う就業機会の増を図ってまいりました。

(3) 相談事業

入会を希望する高齢者のために、月1回の入会説明会を令和4年度から毎月第2・第4水曜日の月2回定例日を設けて入会説明会を開催するなど、センターの業務や役割、就業システム等についてビデオ等を使いわかりやすい説明に努めてまいりました。

(4) 研修・講習事業

県シルバー人材センター連合会との協賛で、「植木剪定スタッフ講習会」、センター独自で剪定講習会を開催するなど高齢者の知識・技能の向上を側面から支援し就業機会の増を図ってまいりました。

「令和5年度 研修・講習事業実施一覧」

期 間	事 業 名	事業 日数	受講 者数	内 容	場 所
10/15～16日	植木剪定スタッフ講習会	2日	9名	講師2名 ・植木剪定の基本について 〈安全就業、就業準備、三脚の使い方、剪定樹種の時期と要領〉 ・植木の剪定、整技〈実技〉	明野公民館（会議室、敷地内）
令和6年2/14～15日	松の木剪定講習会	2日	6名	講師1名 剪定作業の中でも難易度が高い松の木に限定した剪定講習会。	関城学習センターパーラー庭園会

(5) 普及啓発事業

広く地域住民の方々に当センターの基本理念、就業内容等について理解と協力を得るとともに、高齢者の就業機会の拡充が図れるよう、毎年、筑西市が開催している各種イベントに参加し、リーフレット、ティッシュ等を配布することで普及啓発運動を展開してまいりました。

(6) 安全・適正就業対策事業

安全就業委員会6名の委員を中心に、11月に刈払い作業における安全就業パトロールを実施いたしました。引き続き、「事故ゼロ」を目指して安全・適正就業を心掛けていただけるよう、「シルバーだより」を通して周知・徹底してまいります。

3. 独自事業について

ワークプラザの管理運営については、館内清掃の徹底、来客時の対応・態度の向上など利用者に喜ばれる環境づくりに努めたことにより、市民の皆様にご利用いただきました。

「令和5年度 ワークプラザの利用状況（利用回数）」

研修室1	研修室2	会議室	談話室	多目的ホール
36回	240回	87回	13回	57回

4. 子育て支援事業について

市から委託を受けて、関城西小学校及び伊讚小学校で放課後児童クラブ「シルバー・キッズ」を開所し、コーディネーター（職員）を中心に指導員等が帰宅後、家庭において保護者の監護を受けられない児童を監護いたしました。制度の周知が図られたことにより、入会する児童も増加しております。

「令和5年度 子育て支援事業の状況」

伊讚小放課後児童クラブ「シルバー・キッズ」				
登録児童数	年間利用児童数	開設日数	指導員数	アルバイト
50人	9,639人	265日	9人	7人

関城西小放課後児童クラブ1組「シルバー・キッズ」				
登録児童数	年間利用児童数	開設日数	指導員数	アルバイト
38人	5,380人	252日	15人	4人
関城西小放課後児童クラブ2組「シルバー・キッズ」				
登録児童数	年間利用児童数	開設日数	指導員数	アルバイト
42人	7,574人	254日	15人	4人

※指導員数：職員除く

5. 目標値の達成について

【表1】会員数は昨年度より32名減少し、目標会員数に達することができませんでした。また、年間就業率については、令和元年度より派遣事業を含んだ目標値を記載いたしました。就業率は88.7%（請負契約312人＋派遣契約106人）で目標値を1.3%下回りました。受注金額は、2億9,169万円（請負金額：2億1,073万円、派遣契約：8,096万円）と、目標値を下回りましたが、派遣契約は1,256万円の増となりました。

【表2】公共・民間別受注件数及び受注金額については、平成29年度まで概ね順調に推移してまいりましたが、平成30年度からの適正就業の推進により、請負から派遣に移行した契約、請負が解除された契約により減少しております。公共事業については、駐輪場等の指定管理者の終了、適正就業の推進により高齢者には適さない業務（警備、夜間業務）等のために終了した契約により、前年度より契約額は下回りました。

【表3】平成25年度から事業開始した一般労働者派遣事業も11年目となり、派遣先事業所の理解をいただきながら事業拡大に努めてまいりました。就業実人員、受注件数、受注金額それぞれ適正就業の観点から請負契約から派遣契約に切り替えられたことにより、順調に推移しております。

【表4】傷害賠償事故については『事故ゼロ』を目標にしておりましたが、2件の傷害事故と5件の賠償事故が発生してしまいました。今後も新型コロナウイルス感染防止を図りながら安全就業対策委員会による安全パトロールなどの活動を通じ、「事故ゼロ」を目指していきます。

【表1】令和5年度 目標値と実績（派遣事業含む）

項目	目標値	実績
会員数	550人	471人
年間就業率	90.0%	88.7%
受注金額	360,000,000円	291,688,134円

【表2】令和5年度 公共・民間別受注件数及び受注金額（請負事業）

項目	受注件数		受注金額		
	件数	構成率 (%)	金額 (円)	構成率 (%)	
公共	173	4.79	69,787,058	33.12	
民間	企業	507	14.05	60,607,407	28.76
	家庭	2,928	81.13	79,653,560	37.80
独自事業	1	0.03	680,200	0.32	
合計	3,609	100.00	210,728,225	100.00	

【表3】令和5年度 一般労働者派遣事業実績（筑西市事務所）

受注件数 (件)	就業実人員 (人)	就業延人員 (人)	受注金額 (円)
67	106	13,779	80,959,909

【表4】令和5年度 傷害・賠償事故発生状況

発生件数			発生状況		
傷害事故	賠償事故	計	就業中	経路途上	計
2件	5件	7件	(7件)	(0件)	7件

事故内容 傷害事故：梯子から転落、バリカンによる裂傷
賠償事故：刈払機による飛び石・刃の接触による損傷